

市民アンケート調査結果における居住意向別の満足度

市民アンケート調査の居住意向については、その理由を直接把握する設問を設けていないため、市全体のまちづくりについての分野別の満足度について、「住みたい」とした居住意向のある層と「住みたたくない」とした居住意向のない層に分けてクロス集計を行った。

問 1 3 東久留米市のまちづくりについての項目別の「現在の満足度」

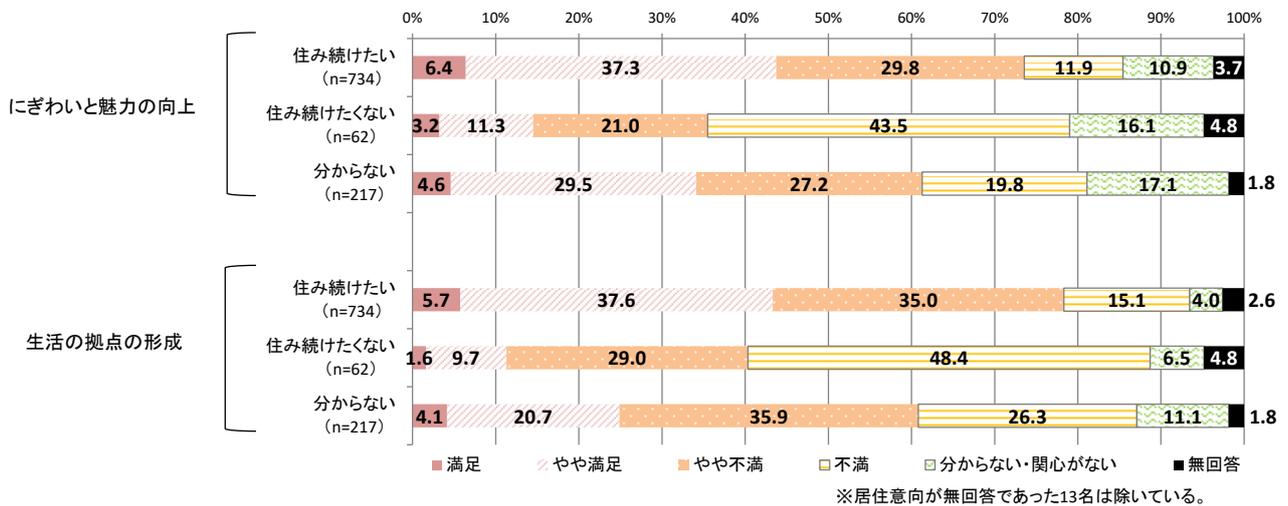
【満足度】

居住意向別の満足度は、いずれの項目でも「住みたい」人の方が、「住みたたくない」人よりも「満足」「やや満足」を合わせた満足度が高くなる傾向にあり、とくに「にぎわいと魅力の向上」「生活拠点の形成」「水と緑の拠点の形成」「商業機能の充実」「幹線道路の整備」「富士山の眺望」「歴史が感じられるまちづくり」「大規模団地の居住・生活環境の改善」「公民館やスポーツ施設などの整備」「道路や公共施設の緑化」「交通環境の整備」では20%以上の差が付いた。

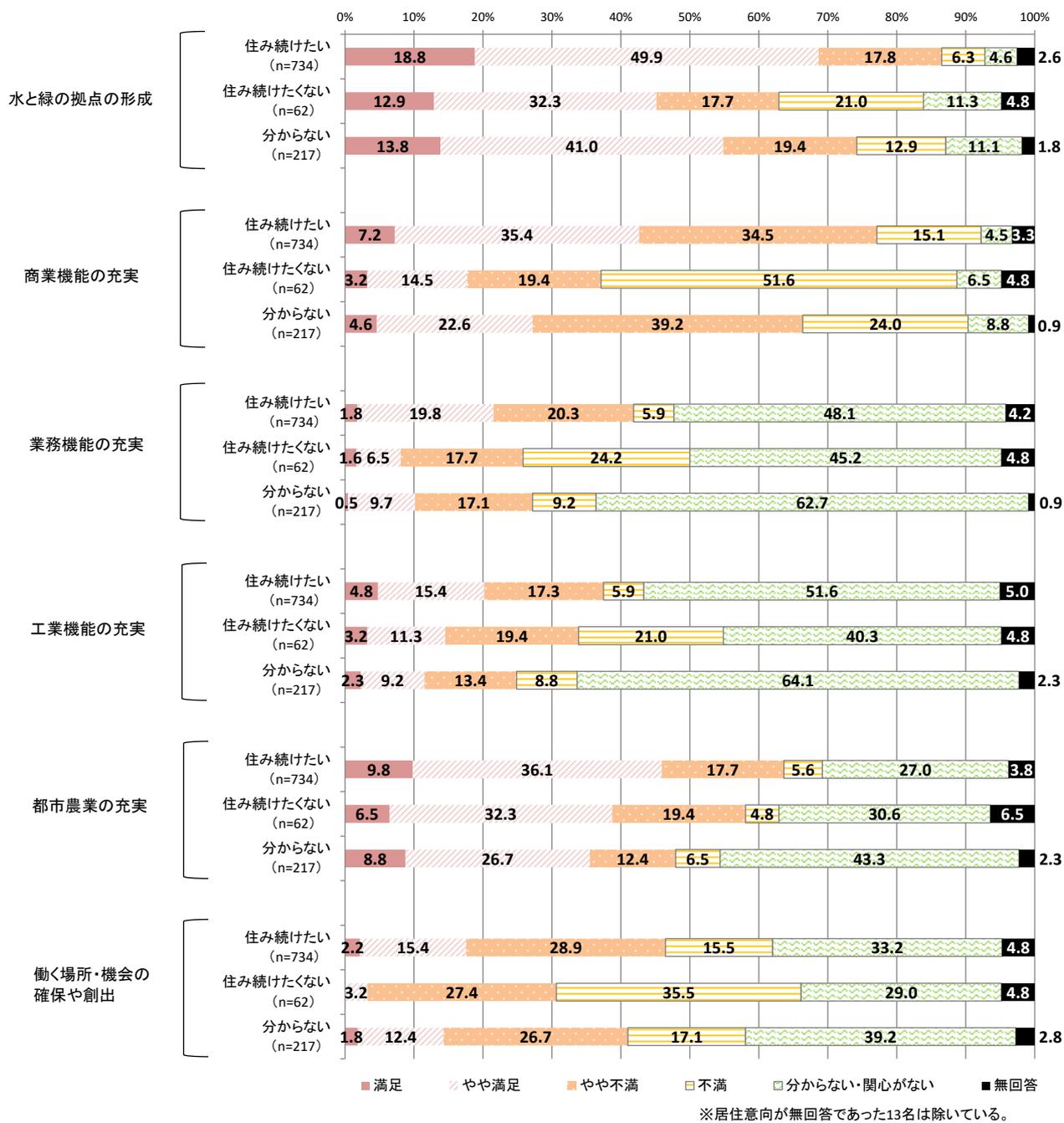
居住意向が「わからない」人は「住みたい」「住みたたくない」の間の割合になる結果が多かった。

「工業機能の充実」「都市農業の充実」「踏切の対策」「社会福祉施設などの整備」「農地の保全」「道路のバリアフリー化」「公共施設や店舗などのバリアフリー化」では居住意向による差が比較的少なかった。

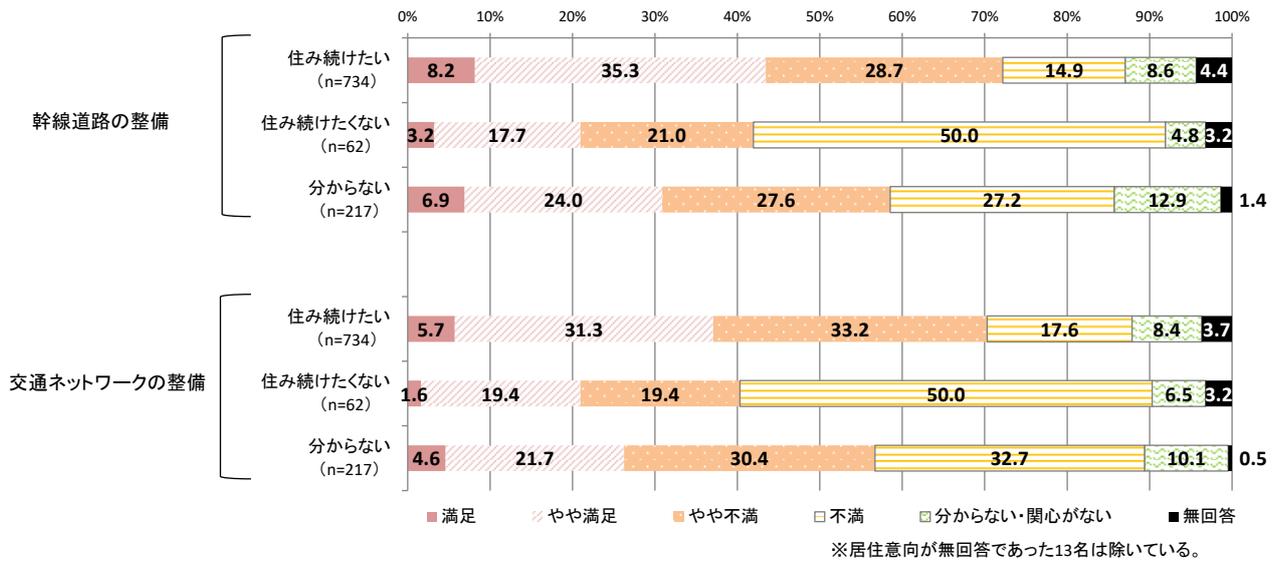
■ 拠点の形成



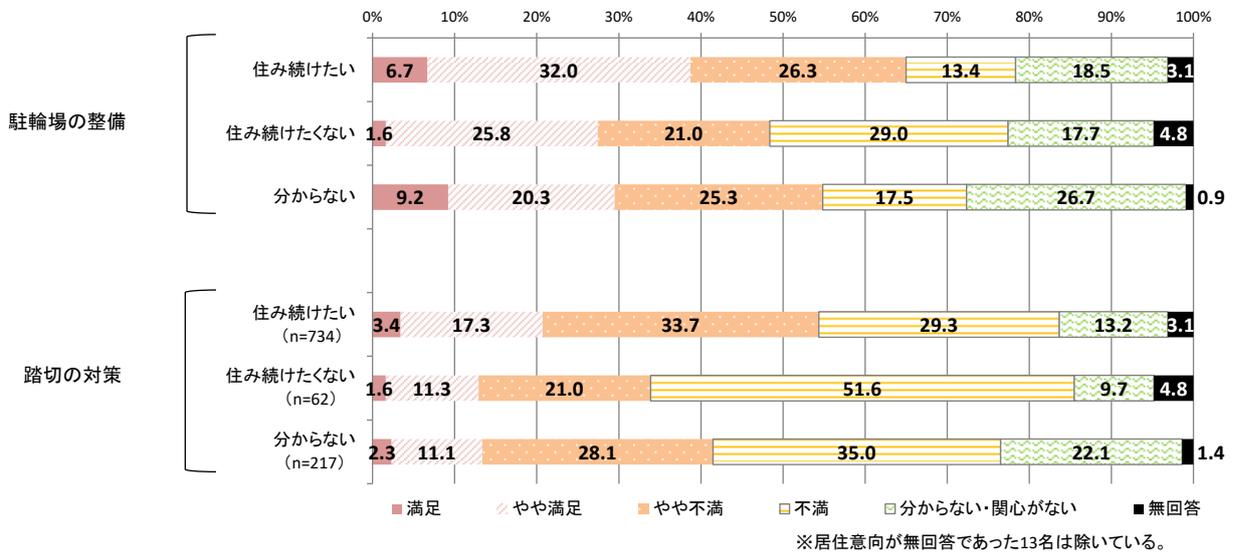
■活力



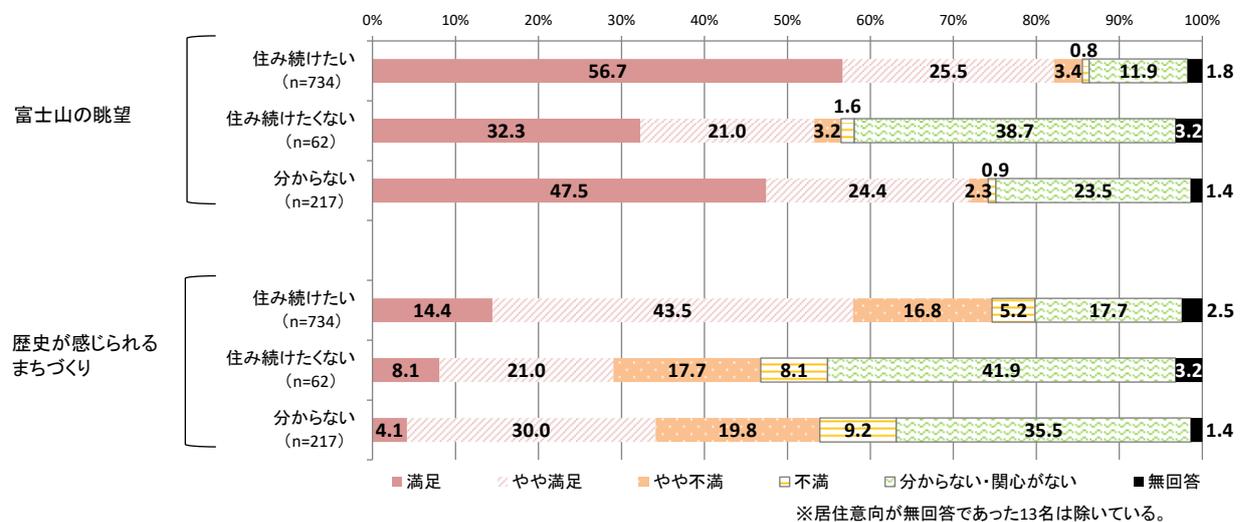
交通



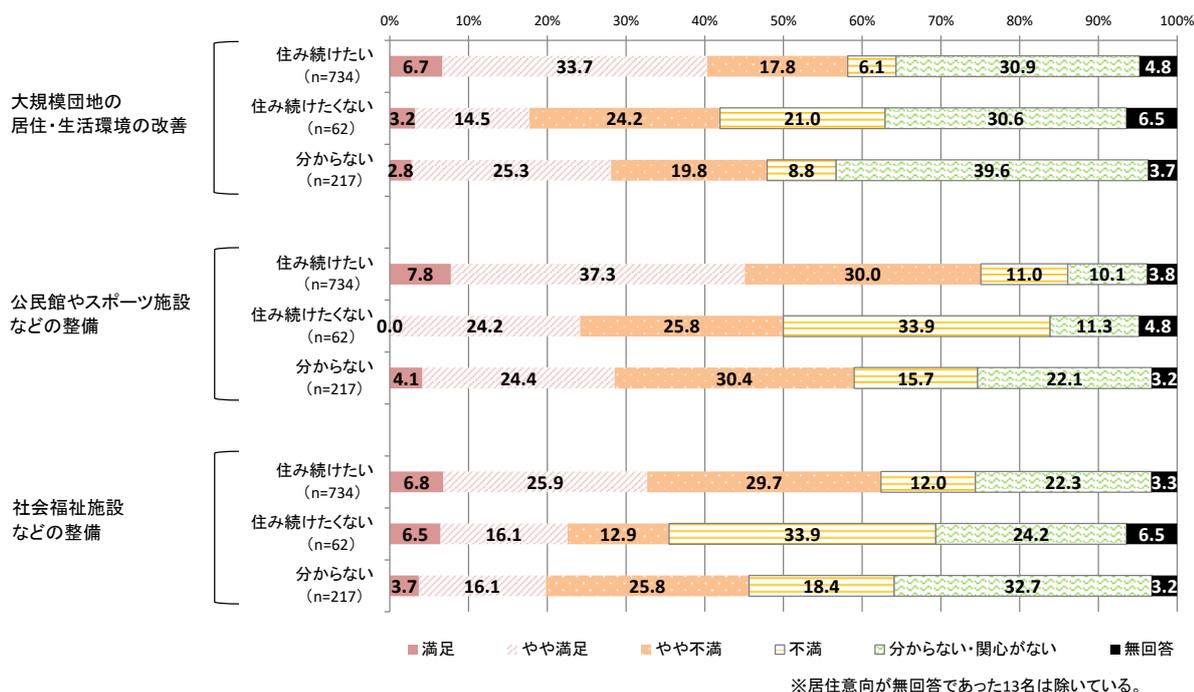
その他の都市基盤



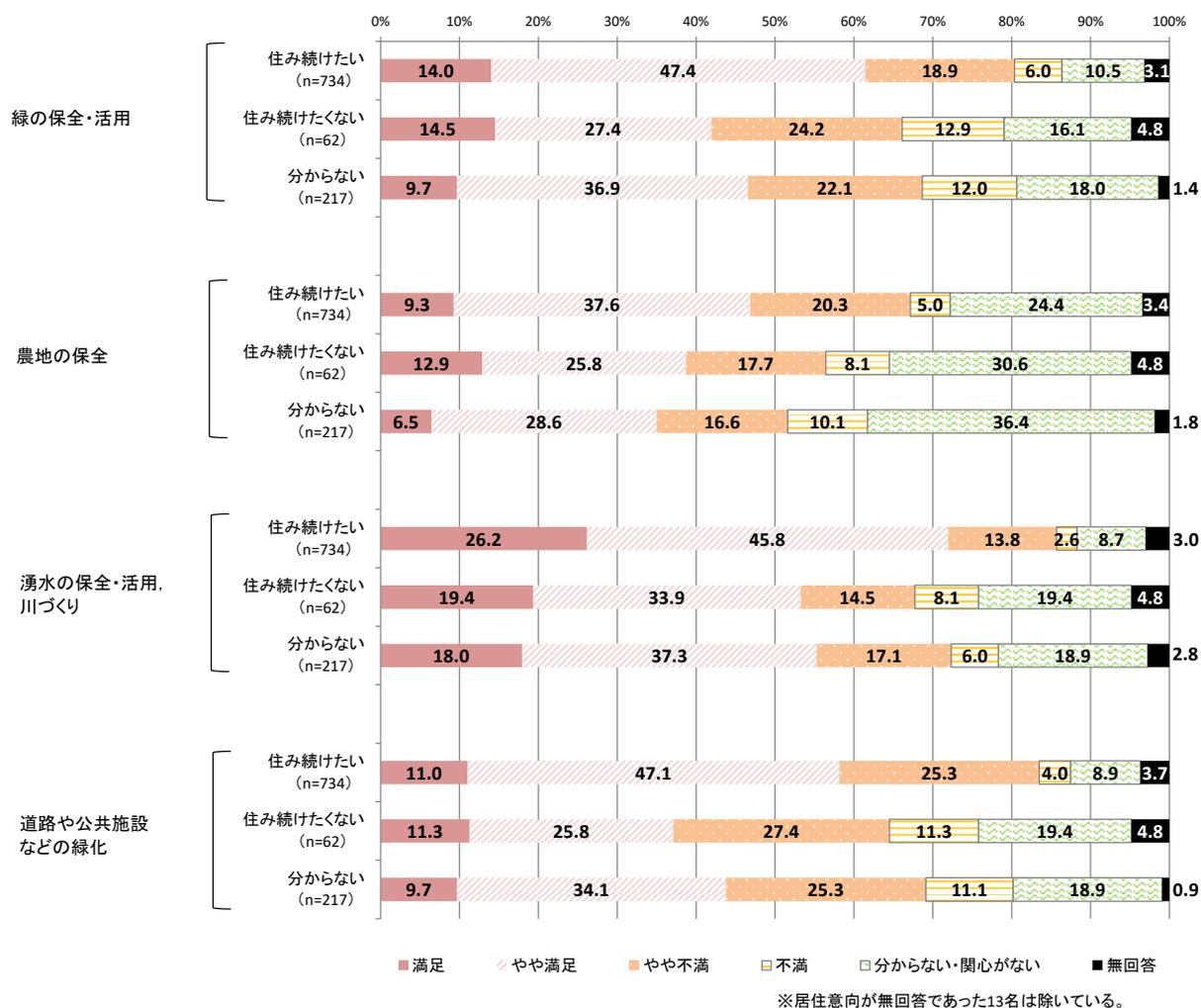
景観



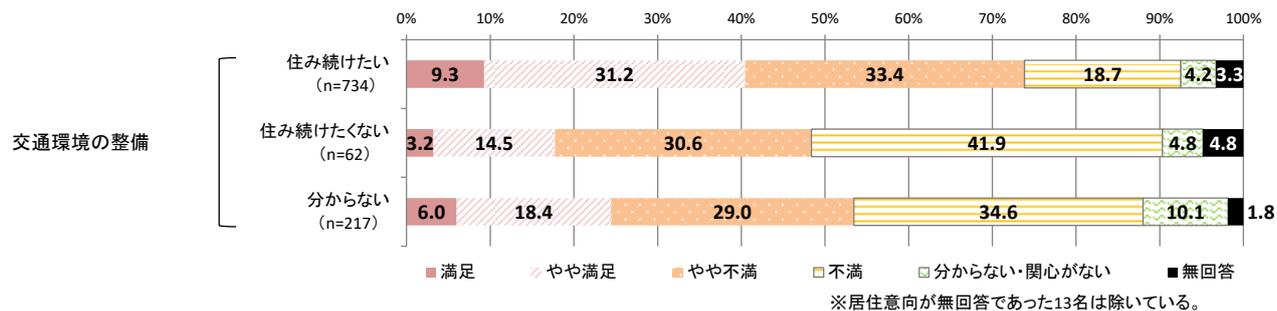
■ 居住環境・生活環境



■ 水と緑



■安全・安心



■バリアフリー

